

3 / 8

友引 日

**旬のもの** 蒲鉾(かまぼこ)

魚肉の練り製品で白身魚が主体です。その形が植物の「蒲の穂」に似ていたので、かまぼこと呼ばれるようになったといわれています。かまぼこ板には、白くて、節のない、しかもにおいのない、モミヤシラベといった木が使われます。かまぼこは、蒸す時、冷やす時に、水分をはいたり吸ったりします。その際に、このかまぼこ板が、余分な水分を吸い取ってくれるため、かまぼこが腐りにくくなるのです。豊臣秀吉も好んで食べたといわれ、江戸時代中期までは自家製が多く、材料はナマズ、ハモ、コチ、キスなどが使われていました。

**みつばちの日**

ミツバチが集めたはちみつはビタミン、ミネラルなどをバランスよく含む優れた栄養食品であることをPRするために、1985（昭和60）年、全日本はちみつ協同組合と日本養蜂はちみつ協会が制定しました。日付けは「みつ（3）ばち（8）」の語呂合わせからです。

**さやえんどうの日**

ハウス栽培のさやえんどうがこの時期に最盛期を迎えること、「さ（3）や（8）」の語呂合わせから和歌山県の農業協同組合連合会が制定。収穫の恵みを喜ぶとともに、和歌山県産ではさやえんどうのおいしさと魅力を消費者にPRするため、県内各地のスーパーなどでは関連イベントが開催されます。

3 / 9

先負 月

**旬のもの** 独活(うど)

ウコギ科で旬は秋から春です。独活の茎は太く直立し高さ2メートル近くになるため、「独活の大木（うどのたいぼく）」などと、やや分が悪い形容に使われたりもしますが、食べると淡白で甘味があり、その特有の芳香とシャキッとした歯触りが、昔から日本人に親しまれてきました。

独活は水分が多く、栄養素の主体は糖質で、その若芽には炭水化・ミネラル・少量のタンニン・精油・酵素・ビタミンB2・Cなどが含まれています。また、特有の香りと苦味が食欲を増進させ、この苦味は整腸作用もあります。アクが強いので皮を剥いたらすぐ酢水に漬けます。漢方薬として使われる場合は同じ「独活」という字を「ドッカツ」と読み、根を乾燥させて使います。

**ありがとうの日**

「サン（3）キュー（9）」の語呂合わせから、「ありがとう」という感謝の言葉を伝え合う日として、NPO法人のHAPPY&THANKSが制定しました。「ありがとうのポストカード」の普及活動をするなど、世界中が感謝の言葉で溢れる社会の実現を目指しています。

**バービー人形誕生日**

1959(昭和34)年のこの日、ニューヨークで開催された国際おもちゃフェアで マテル社がバービー人形を発表しました。現在、150以上の国や地域で販売され、ファッション人形として世界一のシェアを誇っています。1999年の40回目の誕生日には、ニューヨークのウォール街がバービーのテーマカラーであるピンク色一色になりました。